

## 街の歴史の再発見と次代への継承

### IT 技法を活用した港南郷土史のデジタルアーカイブ

日時 : 3月22日(日)

会場 : BankART1929 Yokohama

貞昌院副住職 亀野哲也

<http://teishoin.net>

[kameno@teishoin.net](mailto:kameno@teishoin.net)

1. デジタルアーカイブの意義と港南区における活動実績
2. デジタルアーカイブにより期待される効果
3. 港南歴史協議会とは
4. デジタルアーカイブの活用例
5. 最後に

## 1. デジタルアーカイブの意義と港南区における活動実績

### ■デジタルアーカイブとは

デジタルアーカイブ (digital archive) とは有形・無形の文化資源等を、デジタル化して保存等を行うこと。デジタル化することによって、文化資源等の修復・公開や、ネットワーク等を通じた利用も容易となる。

資料を精緻に電子化することにより、オリジナル資料へのアクセスの必要性を減らすことが出来るため、将来的にも資料の傷みを最小限にすることが可能になる。

は、港南歴史協議会所属団体（次ページ参照）で進めている事業

### ■映像遺産保全の意義

過去の情景、風俗を記録した映像はその国や地域にとって貴重な文化遺産である。

特に港南区は大規模な住宅開発が行われ、一気に過去の情景が失われてしまった。

また、開発前からの居住者は少ない（昭和 30 年 3 万人弱 → 昭和 60 年 20 万人超）

このため、貴重な過去の映像遺産を散逸と消滅の危機から守り保存する。

明治時代開校の小学校や、寺社、地元にも古くから居住されている方が保存されている写真資料のデジタル化

### ■文化遺産の記録と伝承

劣化や損傷が進む歴史的な文化財、また伝統芸能や伝統技術などの無形文化財をデジタルアーカイブとして記録し、後世に継承する。

#### 古民具、古文書のデジタル化

#### 郷土史講演会、講座

「日野・港南台の歴史」「野庭の歴史」「港南の歴史」「ヨコハマ スカーフ捺染の紹介」「港南の昔、区内からの発掘物」「上大岡・笹下の昔、かねさわ道の昔」「日野・港南台の昔、鎌倉街道の昔」「永野・芹ヶ谷の昔、武相国境・鎌倉下の道」など実物や映像を活用した講座を年間 10 回程度開催

港南郷土史の主な保管庫確保への働きかけ

### ■地域映像ライブラリー

地域の今日の姿を体系的に映像で記録し、郷土学習への活用と次世代への継承を図るための映像ライブラリーの構築を目指す。

港南百景(街角の景観) かみおおおか e-town へ 現在 33 地点、約 100 写真を掲載中

史跡探索街歩き記録 過去 8 年間の記録を編集

港南百景デジタルアーカイブ写真展:現在の街並み・景観から郷土史を顧みる。

港南台タウンカフェや港南図書館へ掲示

## 2. デジタルアーカイブにより期待される効果

### ■資料の破損・劣化防止

デジタル化することにより、破損を恐れることなく貴重資料を提供出来る。原資料を保護するために制限がある複写についても、コンピュータを用いてのプリントアウトにより提供が可能となる。

### ■新しい表現の実現

いくつかの資料の映像を部分的に切り出し、再合成することや、様々な解説・音声などを加えることにより、元の資料をより膨らませた形での情報提供が出来るようになる。

「ふるさと港南の昔話」の読み聞かせ 映像を付加して DVD 化、Website へ朗読音声付で公開

### ■時間的、地理的な制約を超えた資料提供

コンピュータを用い、どこからでも貴重資料へアクセスできるようになる。また、同時に多くの利用者に資料を提供でき、各小中学校や自治体による生涯学習への活用が行える。

### 港南歴史協議会 Website の構築

かみおおおか e-town

### ■様々な角度からの資料検索

データベース化により、様々な角度から資料の検索が行える。  
資料を新たな切り口から見る事が可能となる。

## 3. 港南歴史協議会とは

( 設立 2007.4.1 : <http://www19.atwiki.jp/konanrekishi/> )

港南歴史協議会は、横浜市港南区を中心とする周辺を含む地域の 歴史・文化を調べ、互いの情報を交換し、地域の人達へ広く伝え、これら歴史・文化財の記録・保存活動を推進し、地域文化の発展に協力することを目的とした団体。連絡調整を月例で行っている。

### 参加団体

- ・港南の歴史研究会
- ・港南歴史散策の会
- ・港南の歴史を学ぶ会
- ・港南郷土史散策の会
- ・さつき台探勝会
- ・歴史に学ぶ港南台の会
- ・港南区歴史を歩く会
- ・港南区民協議会 教育文化分科会
- ・港南デジタルアーカイブ会
- ・貞昌院 など

### 活 動 :

- 区民へ郷土史の普及・伝承
- 港南文化財保管庫の設立の働きかけ
- 学童支援：次世代へ郷土史の継承
- 区内歴史資料の整理(デジタル化)

### 標記(ガイド)の設置

- 「港南の歴史」改訂版の発行
- 「港南の歴史」近代写真史の作成

#### 4. デジタルアーカイブの活用例

##### (1) 活用例その1 (視覚的に分かりやすく)

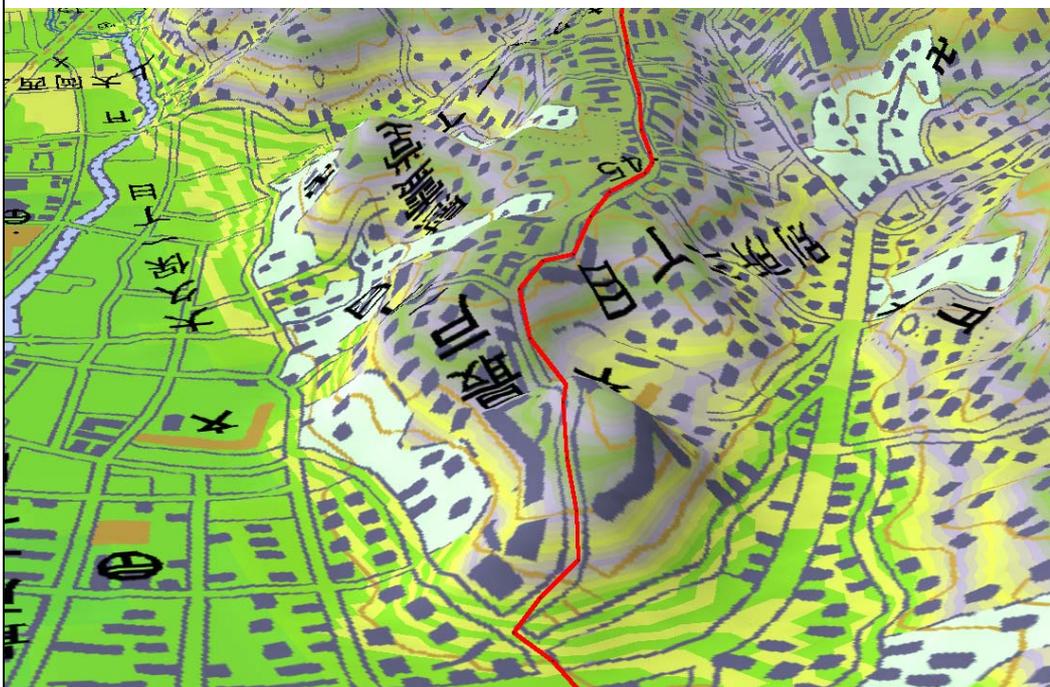


#### ■武相国境

現在の港南区エリアは、東半分が武蔵国、西半分が相模国である。

国境線は追浜～瀬谷までは分水嶺 (=山稜線) 「水 flow れる境」『新編武蔵風土記稿』

..... 東側に降った雨は大岡川⇒東京湾へ、 西側に降った雨は柏尾川⇒相模湾へ

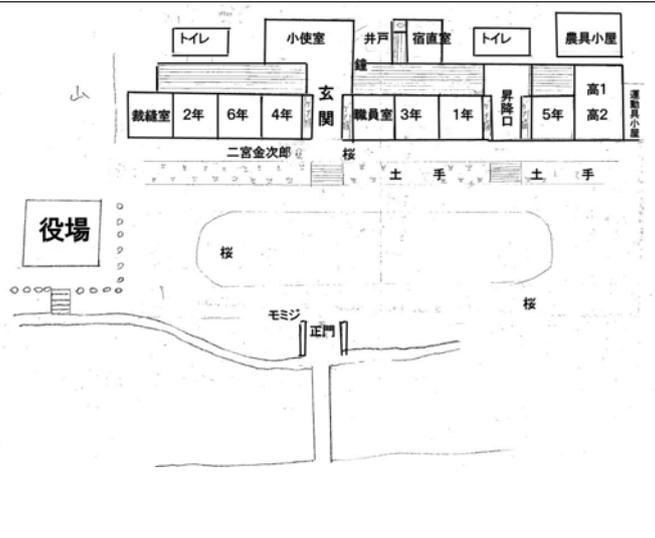
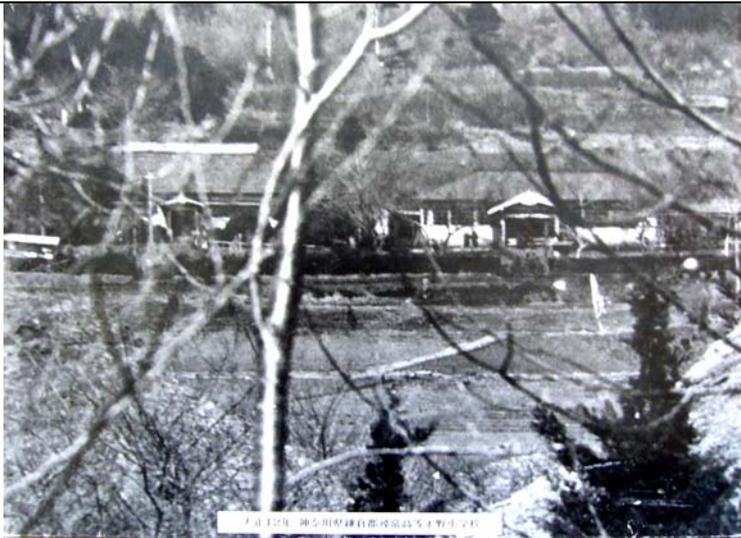


#### ■鎌倉古道

小菅谷村本郷六村の一なり、鎌倉道西南の方を通ず(幅二間より二間半に至る、又古道と称するあり、南方笠間村界にて今の道より北に折れ村の中央を貫き永谷村に達す幅六尺より九尺に至る、按ずるに正保の国図には此道の本道とす『新編相模風土記稿』

カシミール3D+カシバードにて作成

(2) 活用例その2 (写真を元に証言を得たり、定点観測により付加価値をつける)



大正時代後期の永野小学校

当時実際に学んでいた方の証言により作成

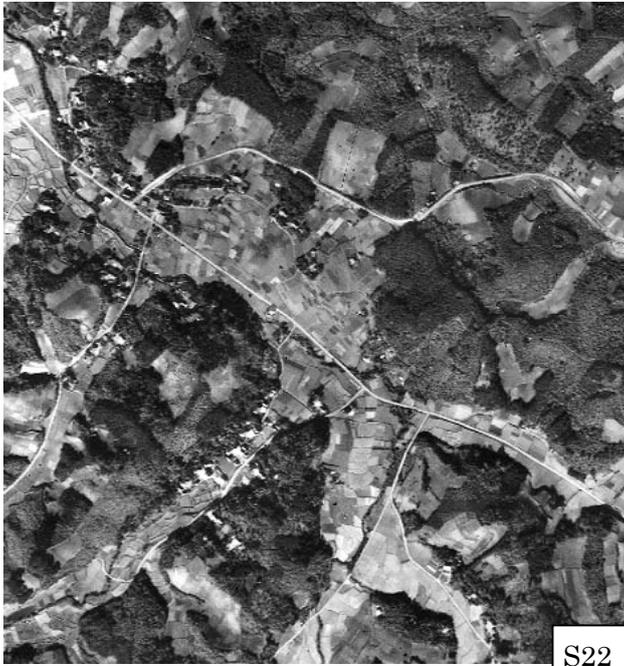
昭和46年の丸山台



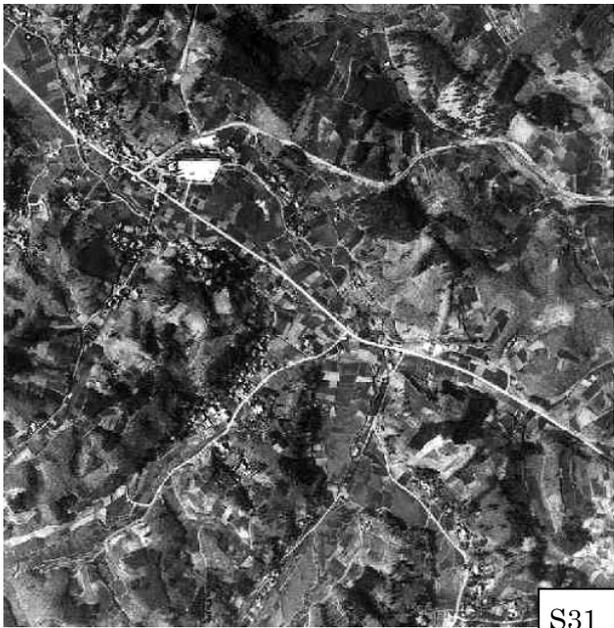
平成20年の丸山台(同一場所)



地域の変遷を同一の視点から検証



S22



S31

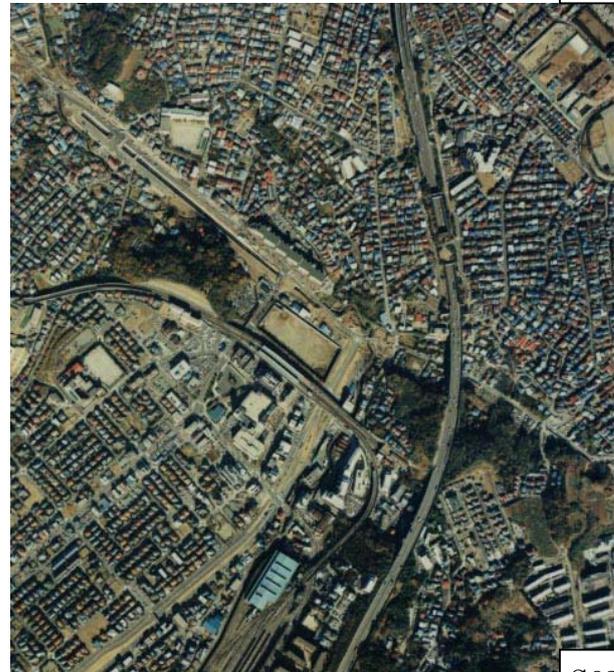


S43

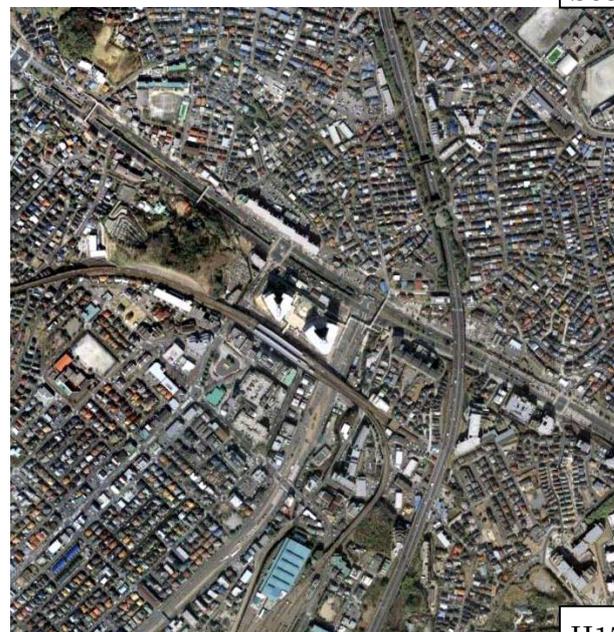
航空写真で見  
る地域の  
変遷  
(上永谷)



S52



S63



H17

(4) 活用例その4 (貴重な文化財を親しみやすく)

※これらは貞昌院の Website <http://teishoin.net> で閲覧することが出来ます

	
<p>■天神おみくじ (横浜市指定文化財・貞昌院蔵) 版木をスキャン、デジタル化+Flashにて作成</p>	<p>■ライブカメラ画像 (貞昌院) 過去 10 年間に亘る定点画像を Web サーバに蓄積</p>
	
<p>■境内建物パノラマ (貞昌院本堂ほか) 平面 60° づつ 6 枚+上下の写真を撮影、FLASH パノラマにて作成</p>	<p>■ライブカメラ画像 (貞昌院) カメラコントロール+音声 panasonic のサーバー付カメラ(3 万円程度)を使用</p>

5. 最後に

港南区は昭和 44 年に南区から分区しました。まもなく誕生から 40 周年を迎えようとしています。その間、著しい都市化への変貌を遂げてきた反面、多くの文化遺産を失い、「郷土」「ふるさと」の伝承・資料が散逸する危機にあります。郷土愛はその歴史文化の正しい認識から生まれます。武相国境・鎌倉古道が育んだ伝統・文化・物語がきちんと受継がれていきますよう切に願います。

亀野哲也 (天神山貞昌院副住職 [kameno@teishoin.net](mailto:kameno@teishoin.net))

## 【参考資料】 デジタルアーカイブ化に向けてのプロセス

### 現物層とは

各種有形無形の文化財全般（以下、文化財）を指します。また写真や映画、ビデオで撮影したフィルムやテープも現物層に含まれます。

### 主体者とは

デジタルアーカイブを進める美術館や寺院、自治体、教育機関、個人、企業のことをいいます。

### 計画層とは

将来の使用、活用目的、提供方法などに合せ、どのようなデジタルアーカイブをつくるか概要、構造を整理、まとめることです。

### 記録層とは

文化財を撮影または複写し、文章、図版、画像、映像、音声などをデジタル化する方法、ならびにデジタル化されたデータののことをいいます。

### DB(データベース)層とは

記録層で作成されたテキスト・画像・映像などのデータと必要なデータを検索する検索プログラムを組み込まれたデジタルデータ全体の蓄積をいいます。

### プレゼンテーション層とは

データベースに蓄積されたデジタルデータを使用して主体者や企業、個人などが各種作品を製作し各種メディアで一般利用者に提供することをいいます。

### 利用層とは

プレゼンテーション層で主体者が制作・提供した作品を活用して、個人、企業などが再度自分の目的に則した作品、製品をつくり一般利用者に提供することをいいます。



出典：デジタルアーカイブ推進協議会(JDAA)